



四国アイランドリーグplusが描く未来

Ver. 2018

～ 新体制の取り組み方針 及び 具体的施策 ～

四国アイランドリーグplusは、「**人材育成**」と「**地域貢献**」を2本の柱として、14年目のシーズンを迎えます。

これまで、「**人材育成**」という観点からは、**60名以上の選手をNPBに輩出**するなど、一定の成果を挙げてきました。

「**地域貢献**」という観点からは、昨年も**4球団で700回以上の地域活動**を行うなど、地域においても一定の役割は果たせているように思います。

ここまでリーグ運営を続けていくことができたのは、何をおいても、地域の皆様方のお陰です。

あらためまして、心より、御礼申し上げます。

しかし・・・

このまま、同じことを続けていけば、それでいいのでしょうか？

この先の10年、さらに20年先を見据えたとき・・・

このまま、同じことを同じように続けていくだけで、私たちは、地域の皆様方にご恩返しができるのでしょうか？

そうは、思いません。

私たちは、地域のスポーツリーグとして、野球という競技やスポーツという枠を越え、**地域社会における様々な課題**を、主体的に、**解決**していかねばならない。

そんな **使命** を背負っているのだと考えます。

そのためにも、私たちは、**時代の潮流を先取り**し、これまで2本の柱としてきた「人材育成」、そして、「地域貢献」という存在意義を、**次のステージ**に高めていかねばなりません。

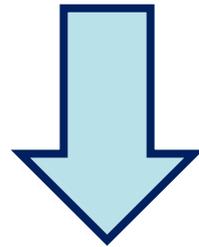
こうした観点から、私たちは、次に掲げる**4本の柱**に沿って、具体的な施策を推進して参ります。

- ① 組織としての**ガバナンス**の整備
- ② 地域社会の課題を解決するための**新規事業**の創出
- ③ 新しい**エンターテインメント性**の追求
- ④ **スポーツマンシップ**を軸にした人間教育の徹底

① 組織としてのガバナンスの整備

【背景】

- ・ リーグ創設から13年の月日を経過したことによる制度疲労
- ・ 自立性、持続可能性の観点から経営基盤を強化する必要性



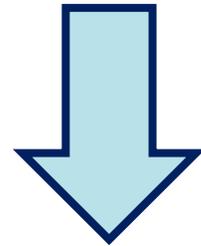
具体的施策

1. (株)IBLJ及びIL理事会の役割及び意思決定手続の明確化
2. 適材適所の人事
3. 外部人材の積極登用及び外部組織との積極的な連携

② 地域社会の課題を解決するための**新規事業**の創出

【背景】

- ・ 従来の手法によるスポンサー獲得の停滞
- ・ 健康、福祉、教育、防災、観光など社会的、経済的課題を解決する必要性



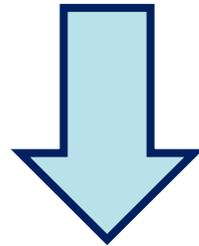
具体的施策

1. JTBとの包括連携協定締結によるインバウンド誘致事業及び国内法人向けパッケージ商品の展開
2. 民間企業との業種を越えた連携による新規事業の創出及び利益分配
3. 国、地方自治体との連携強化によるニーズの把握、事業の受入

③ 新しいエンターテインメント性の追求

【背景】

- ・ 観客動員数の増大、普及振興活動の活性化の必要性
- ・ 新たな顧客層の開拓及び新たな収入源獲得の必要性



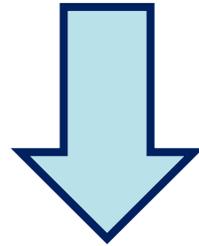
具体的施策

1. データ入力システムの本格導入及び一球速報の独自配信等、ITを活用した事業展開の推進
2. 3人制バスケのトップリーグ「3×3.EXE PREMIER」への新規参入

④ スポーツマンシップを軸にした人間教育の徹底

【背景】

- ・ NPB入りの成否にかかわらず、ILに在籍すること自体の価値を追求
- ・ 人材育成の方針や指標、セカンドキャリア支援のあり方を整理し、体系化



具体的施策

1. スポーツマンシップをキーワードに人間教育の場としての価値を創出
2. 人間教育を重視したアカデミー事業のさらなる推進
3. OB主導によりアスリート人材のキャリアを考える「キャリアデザインプロジェクト」の始動

野球と言えば、四国。スポーツと言えば、四国。
健康と言えば、四国。教育と言えば、四国。
○○と言えば、やっぱり、四国だよね。

いつか、そんな将来が訪れることを夢見て。

四国アイランドリーグplusは、変化を恐れず、旧態依然とした
因習に縛られることなく、スピード感を持って、挑戦を続けます。



四国アイランドリーグplusは、いつも、地域の皆様とともに